

# 地域と連携した共創型能登復興について

金沢大学 人間社会研究域 経済学経営学系 講師 原田魁成

協力

金沢大学ボランティアさぽーとステーション 学生の皆さん

---

2025年1月25日

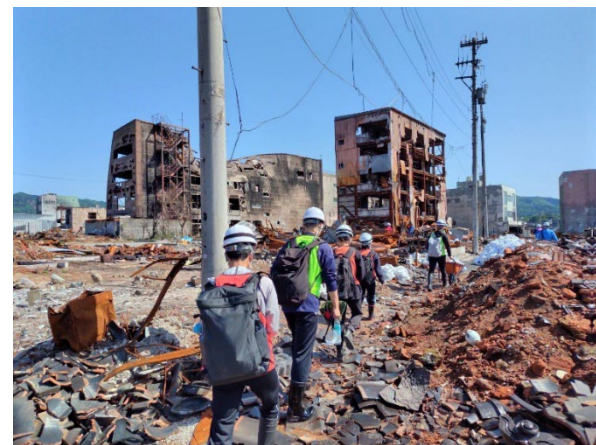
# 目次

---

- 2024年に実施したボランティア活動について
- 輪島市共働支援センター(仮)の設立について
- 大学に求められる地域と連携した共創型能登復興について

# 2024年に実施したボランティア活動について

## 災害派遣ボランティア活動



輪島市37回、七尾市12回、能登町4回、珠洲市2回、志賀町1回  
他大学と17回、民間企業と7回合同ボランティアを実施

## 傾聴ボランティア活動



足湯やサロン活動を通じて被災された方と交流を図る  
ボラさぽ主催3件(金沢市・内灘町・穴水町)で活動中

## 避難所での生活支援活動



避難所内の清掃活動や  
生活支援物資の配給など

## 他の支援団体との連携



輪島朝市の物品販売や縁日スタッフなど  
10以上の支援団体と連携

## その他の支援活動



街頭募金や子ども支援、炊き出しなど  
講演活動や防災教育なども実施

支援ニーズの変化に応じて様々な活動を実施してきました  
2025年1月15日時点で1,360人の学生・教職員がボランティア活動に参加

# 能登半島地震に関わるボランティア活動について

2024年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 豪雨災害	11月	12月	
避難所支援	→		-----			1/12~:田上公民館 1/17~:1.5次避難所		2/14以降は 個人参加					
被災地派遣	2/22~継続中 月2~3回実施		七尾市		能登町		輪島市+重蔵神社、珠洲市、能登町					輪島市	
傾聴活動	3/11~規模拡大中 いずれも月1~2回で実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・[金沢]行くまいか！交流会(共催)</li> <li>・[金沢]あつまらんけ~のと！(6月以降は毎週参加)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・[内灘]寄ってきまっし交流会(主催)</li> <li>・[穴水]ほしぞら カフェ(主催)</li> </ul>					
炊き出し・ 子ども支援他						6/19~継続中		被災地での縁日スタッフや支援物資の配布(重蔵神社)など					

# 輪島市重蔵神社について

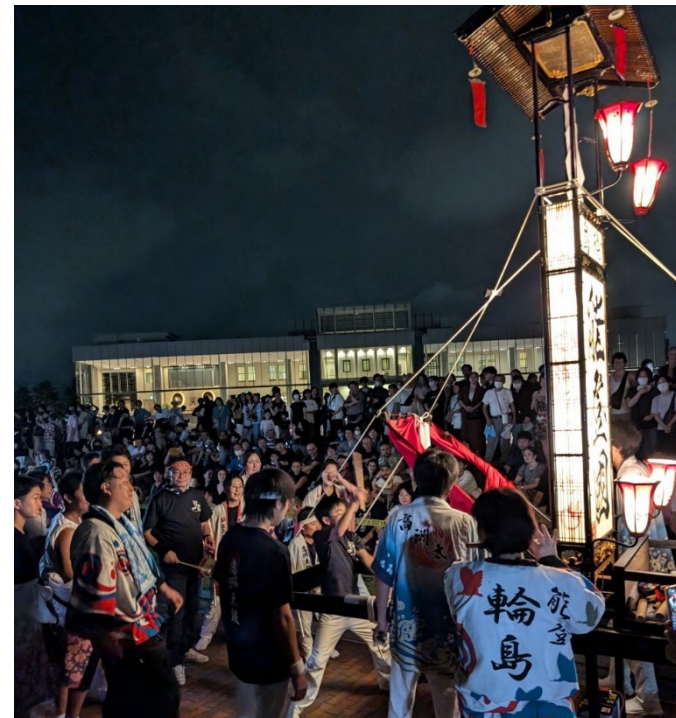


1300年の歴史を誇る輪島市河井町に鎮座する神社  
神社関係者の方々は地域住民の方々との繋がりが  
非常に深く、輪島の文化や歴史も熟知されているよう  
な、輪島復興の中核とも言える方々



全壊したお社(5社)の解体や支援物資貯蔵テントの設  
営、支援物資配布支援など  
ボラさぽとして約30回の支援を実施

# 地元祭り参加による地域活性



8月17日 金沢市内で能登復興祈願キリコ大祭を実施  
金沢近郊に避難されている方に力強いエールを送る

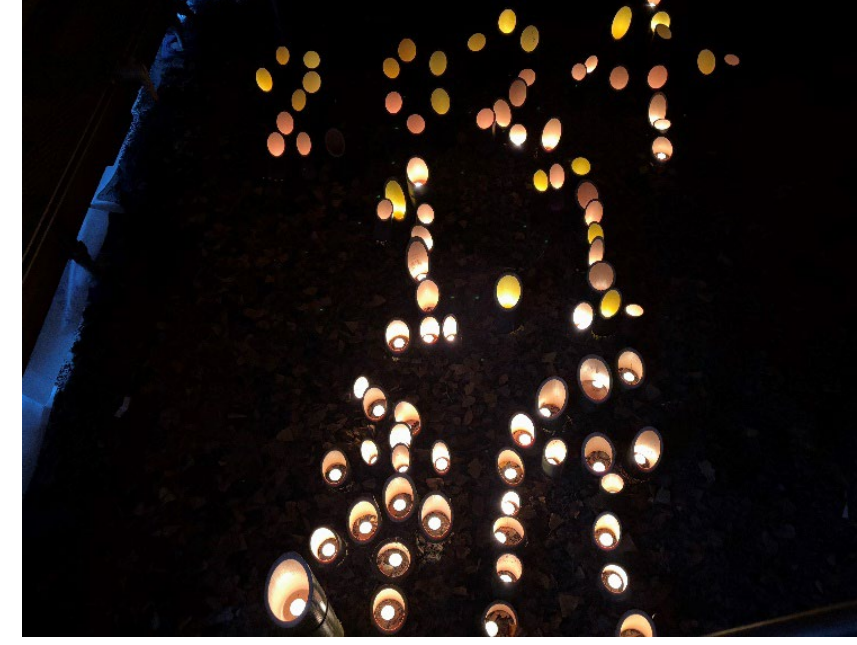
8月23日 輪島市内で重蔵神社輪島大祭を実施  
参加者が“祭りで地震を乗り越えた”と述べられる

# 輪島市重蔵神社で過ごした年末年始

初詣の会場設営とカフェの運営



被災者追悼企画竹灯籠の準備と展示



年越しや16時10分の追悼の瞬間を輪島で過ごす  
竹灯籠の点灯は被災された方々の心を癒した

# 輪島市共働支援センター(仮)の設立について

2025年1月14日、輪島市で復興支援を続ける団体を参集して共働支援センターを立ち上げるための顔合わせ会を実施  
→活動拠点が設置される3~4月に本格始動予定  
→横の連携による多角的な復興支援が可能に！

- 統括：  
輪島ファーストペンギン様(重蔵神社)
- 技術系支援：  
B-DASH様、コミサポ広島様
- 医療福祉支援：  
ごちゃまるクリニック様、中村悦子様
- 児童・子育て支援：  
わじまミラクルず様、NPO法人じっくらあと様(輪島ティーンラボ)
- よろず支援：  
輪島復興支援団体リガーレ様(輪島市社会福祉協議会も併任)
- 運営支援：  
共生地域創造財団様、パルシック様
- 学生派遣・研究支援：  
金沢大学



# 大学に求められる地域と連携した共創型能登復興について

## ○「記憶」の「記録」化と防災マニュアルの作成

- 被災者の方の実体験や支援者らの行ってきたこと(特に震災後3か月の動きなど)
- 本震災+水害を通じた防災・避難所マニュアルの更新

## ○伝統文化の維持・継承

- 担い手がいない、研鑽する場所もない、文化がないと人がこない...  
→文化と歴史の記録化と文化に触れる機会の創出

## ○観光客の誘致と能登文化の対外発信

- ボランティア従事者の需要が落ち着いたら...そもそも供給側の人手不足も
- 商業従事者の中でもネット販売(EC)を取り扱っていない方もいる



# 今後の活動予定

- ・共働支援センターメンバーと連携した「能登復興」活動  
→他大学・他団体とも合同で実施

- ・被災された方へのご支援(在宅・仮設・二次避難含む)を継続  
→足湯や傾聴などを通じて継続的な交流を図る

- ・他県への被災地に関する啓蒙活動と合同支援の実施  
→講演活動＋街頭募金など、他県の方も支援者(関係人口)へ

- ・能登の文化理解と対外発信  
→能登の文化に触れる機会の創出とSNSや講演、出展などを通じた国内外への発信  
...など

